

	ちやんとごはんプロジェクト「食の伝統行事を知る」	事前のお知らせ
	児童館で伝統行事「七草かゆ」を体験	
と き	平成29年1月7日(土) 14:30～15:30	
と ころ	練馬区立光が丘児童館(光が丘1-3-1)	
<p>1月7日の七草の日にあわせて、光が丘児童館(光が丘1丁目)では、来館者に「七草かゆ」が振る舞われる。(先着40食)</p> <p>同館で、和食の伝統行事「七草かゆ」の由来を話題にしたところ、「なぜ食べるのかわからない」「作ったことはない」といった子供や子育て中の保護者が多く、体験事業を実施してほしいとの要望があったことから、食育推進ボランティアの協力により、実施することとなった。</p> <p>当日は、児童館職員が七草の由来をクイズ形式で紹介した後、地域の食育推進ボランティアの協力により、大根や小松菜など、身近な旬の野菜が7種入ったお粥を振る舞い、子供たちと一緒に1年間の無病息災を祈願する。</p>		

【光が丘児童館「七草かゆ」行事】

日時:平成29年1月7日(土)14:30～15:30

場所:光が丘児童館(光が丘1-3-1)

申込:当日先着順受付

【和食による食育の推進】

「和食」がユネスコの無形文化遺産に登録されて3年目。次世代を担う子供たちに「和食」を継承することが重要とされている中、区では乳児期から「家族と一緒に、和食の離乳食」をすすめ、母子健診や相談の機会に、「子供の頃にだしのおいしさと和食のおいしさを教えることの大切さ」を伝えている。

一方、子供の食の問題として、食生活の洋風化による生活習慣病の若年化、「和食」が十分に伝わっていない、食事作りの経験をする機会が少ない、共食の機会が減り、我が家や地域の食文化の継承ができにくいなどの現状や、朝食の欠食等の問題が指摘されている。

区では食育事業を通じて、地域のボランティアと子供たちの食を通じたつながり、そこから、食を通じた健康で豊かな練馬の実現を目指している。

【参考】「食育推進ボランティア」について

区が実施する食育推進ボランティア講座の修了生。区との協働により、食育事業「ちやんとごはんプロジェクト」を実施している。

【参考】「ちやんとごはんプロジェクト」について

「練馬区健康づくり総合計画」(平成27年9月策定)の重点事業。子供たち一人ひとりが自分の健康を考え、食事を用意(調理)して食べることができる「食の自立」を目標に、食育推進ボランティアの協力により、児童館等の区立施設で、地域の子供たちの健康的な食事作りの体験事業を行っている。

光が丘児童館では、平成27年度から継続して「ちやんとごはん」事業を実施しており、この事業をきっかけにして、子育て世代を対象に「おうちでつくるおせち」の講習会などを実施している。